

全国定通体育大会に出場する部の主将から力強い決意の言葉があったように、六月に行われた県予選を見事に勝ち抜いて、バスケット女子、バレー、バドミントン女子個人の山田さんが全国大会に出場することになりました。県予選とは違い、生徒の皆さんや先生方が応援に駆けつけることはできませんが、佐世保の地で一生懸命応援していますのでしっかり頑張ってください。

全国の仲間と試合が出来ることは大変素晴らしいことであり、貴重な経験でもあります。また、全国大会は長崎県の代表でもあるのです。予選で敗れ全国出場の夢が適わなかった他校の皆さんの思いをしっかり受け止めて試合に臨んでほしいと思います。

昨年はバスケット男子が準優勝という素晴らしい成績を上げることができました。今年も一試合でも多く勝ち残って佐世保中央高校の名を全国に知らしめてくれることを期待しています。

また吉田先生から紹介があったように、七月三十一日から八月四日まで行われる「しおかぜ総文祭」にも二十名の皆さんが参加します。県内はもちろん全国の多くの高校生と交流を図り、長崎や佐世保とは違った全国各地の文化をしっかりと全身で受け止めてください。

佐世保市ではこの総文祭に加え、八月六日から九日まで北部九州総体の空手競技が行われます。皆さんもせっかくの機会ですので空手競技や総文祭（佐世保ではアルカス佐世保で合唱や吹奏楽、市民会館で日本音楽、体育文化館での書道）をぜひ見学して、全国の高校生の頑張りから感動を味わってほしいと思います。

このように高校生が様々な場面で活躍する機会が多くありますが、併せてこの夏休みにぜひ感動を味わってほしいものがあります。知っている人も多いかもしれませんが、八月十日からモスクワで世界陸上が始まりますが、私はこの大会に出場する一人の日本人選手に注目しています。

その人は女子マラソンの野口みずき選手です。知ってのとおり彼女はアテネオリンピックの金メダリストです。しかしこの後、度重なる足の故障に苦しみ、出場すれば金メダル間違いなしと言われていた北

京オリンピック出場も直前に断念せざるを得ませんでした。

しかし彼女はあきらめませんでした。次のオリンピックであるロンドンを目指して再び挑戦するのです。年齢は三十歳を超え、体力的にも限界が近づいています。苦しんできた足の故障がいつ再発するかわからない不安な状態が続く中、昨年三月オリンピックの国内選考レースである名古屋ウィメンズマラソンに出場しました。結果は六位。オリンピック出場は適いませんでした。この時の涙のゴールは今でも私の記憶に鮮明に残っています。

この涙はオリンピック出場が適わなかった悔しさの涙ではなく、度重なる故障に負けることなく、この表舞台に帰って来られた満足感と、目標に向かって挑み続けた自分自身へのご褒美の涙であったと、後で語っています。

彼女がすごいのはここからです。「ここをスタートにしたい。ずうずうしいと思われるかもしれないが、諦めないで進んでいきたい」と、レース後のインタビューに答え、再び世界の舞台へ挑戦することを明言したのです。そして今年、世界陸上の選考会である三月の名古屋ウィメンズマラソンに出場して三位となり、見事に世界陸上モスクワ大会の日本代表の一人に選出されました。

アテネの栄光から十年が経ちモスクワ大会では彼女は三十五歳です。好成績を期待するのは酷かもしれませんが、世界でもう一度戦いたいとの一心から、自らを鼓舞し、挑戦し続ける彼女のレースをぜひテレビ観戦し、目標に向かって努力するアスリートの姿を目に焼き付けてほしいと思っています。

さて、明日から夏休みが始まります。三年生は進路を決定する大切な時期でもあるということを自覚し、充実した夏休みになることを期待します。また、一、二年生補習や発展講座が計画されています。積極的に受講し、社会で通用する学力を身につける良い機会としてください。

厳しい暑さが続きますが、健康に十分注意して意義ある夏休みが過ごせることを期待して私の話を終わります。